

# 平成24年度 第15回 数理分子生命理学セミナー

日時：平成24年10月3日(水) 14:35～

場所：理学部E210 講義室

講師：白江 麻貴 先生(理研 CDB, 本専攻 研究員)

演題：The Saga of the Germ Line

要旨：多細胞の生物(後生生物)は体細胞と生殖細胞により構成されています。体細胞は与えられた機能を果たすために分化し、やがて死滅します。一方で生殖細胞は卵や精子をつくり出し、親の遺伝情報を次世代へ伝えます。生命の連続は、(現世を謳歌する)圧倒的多数の体細胞に対して、生殖細胞がどのようにアイデンティティを保ち、有性生殖を実現させるかにかかっています。近代発生学研究は、後生動物が種によって様々な生殖細胞形成様式を持つことを明らかにしてきました。生命の連続性を担う生殖細胞を作り上げるしくみが動物種によって様々であることは、不思議にも思えます。しかし最近、ばらばらに見えた生殖細胞形成にいくつかの共通項が現れはじめています。今回のセミナーでは、このような生殖細胞研究の最近のトピックと、私の現在扱っている原索動物ホヤにおける研究成果と展望についてご紹介したいと思っています。

## 参考文献

「生命を捉えなおす—生きている状態とは何か」清水博(中公新書)

「Developmental Biology」Scott F. Gilbert, Susan R. Singer

“Mechanisms of germ cell specification across the metazoans: epigenesis and preformation” Development. 130:5869–5884. (2003)

《 本セミナーは、5研究科共同セミナー認定科目です 》

連絡先：坂本尚昭(理学研究科 数理分子生命理学専攻 内線：7447)